Amundi
Investment Solutions

交付運用報告書

愛称：りそな ペア・ハイ インカム

アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド

追加型投信／海外／債券

第 43 作 成 期

第252期（決算日 2025年４月14日）
第253期（決算日 2025年５月12日）
第254期（決算日 2025年６月12日）
第255期（決算日 2025年７月14日）
第256期（決算日 2025年８月12日）
第257期（決算日 2025年９月12日）
作成対象期間（2025年３月13日～2025年９月12日）

第257期末（2025年９月12日）	
基 準 価 額	5,112円
純資産総額	3,508百万円
第252期～第257期	
騰　落　率	6.8%
分配金（税込み）合計	120円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。
当ファンドは、原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。また、投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。原則として、為替ヘッジは行いません。
当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。
ここに運用状況についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

・当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
【閲覧方法】
右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書（全体版）をクリック（当ファンドが償還した場合は「ファンド情報」メニューの「償還ファンド一覧」からご覧ください）
・運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

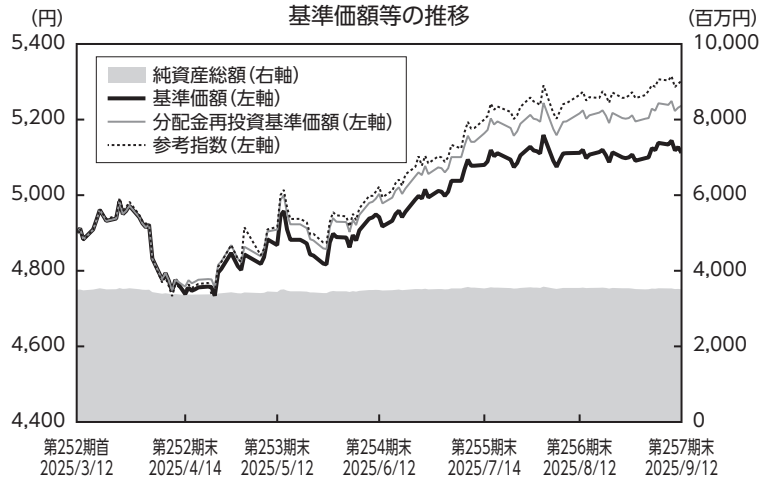
<お問い合わせ先>
お客様サポートライン：050-4561-2500
受付は委託会社の営業日の午前９時から午後５時まで
ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/

< 4846877・4879795 >

運用経過

基準価額等の推移

第252期首	4,901円
第257期末	5,112円
既払分配金（税込み）	120円
騰落率	6.8% （分配金再投資ベース）



（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注３）参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。
（注４）分配金再投資基準価額および参考指数は、2025年３月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、前作成期末比で上昇しました。

上昇要因

５月以降の堅調なハイイールド債市場と、円安・ユーロ高の進行

下落要因

４月のリスク回避の動きが強まった場面での軟調なハイイールド債市場と、円高・米ドル安

１万口当たりの費用明細

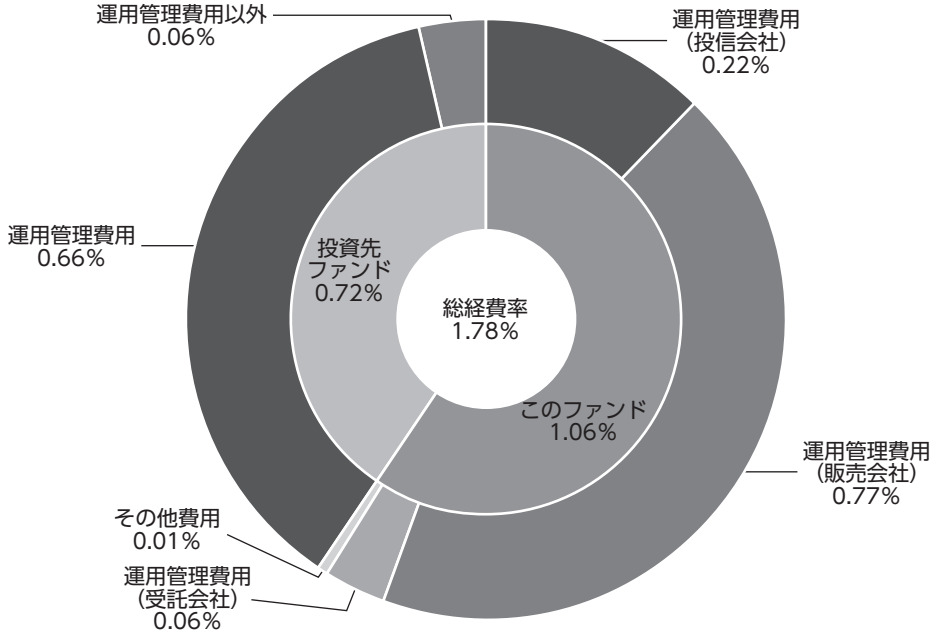
項　　目	第252期～第257期（2025年３月13日～2025年９月12日）		項　目　の　概　要
	金額	比率	
(a) 信　託　報　酬	26円	0.527%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投　信　会　社）	(6)	(0.111)	委託した資金の運用の対価
（販　売　会　社）	(19)	(0.388)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ　の　他　費　用	0	0.005	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	26	0.532	
期中の平均基準価額は4,975円です。			

（注１）費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）消費税は報告日の税率を採用しています。
（注３）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注４）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注５）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

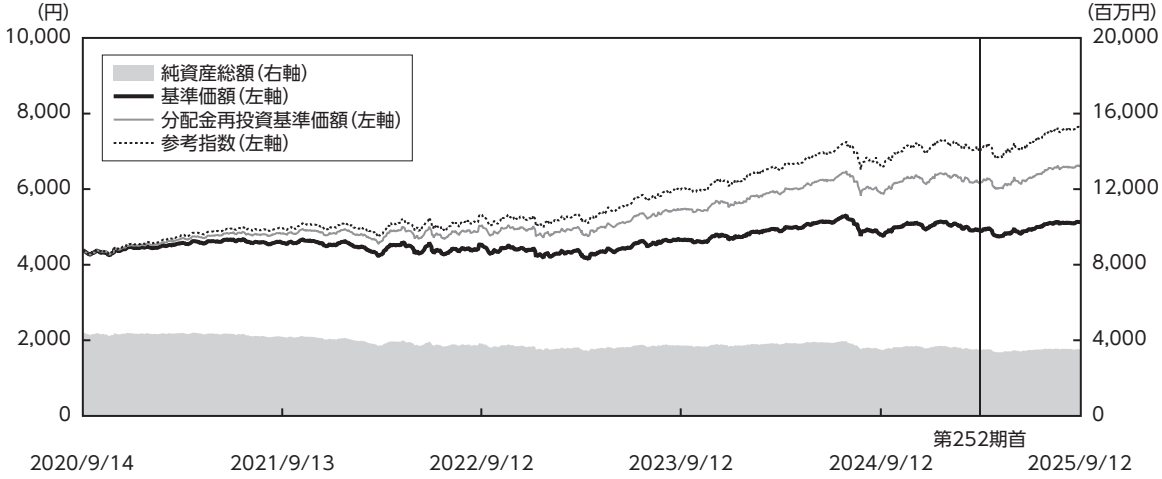
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78％です。



総経費率（①＋②＋③）	1.78％
①このファンドの費用の比率	1.06％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06％

（注１）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
（注５）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注６）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移　（2020年９月14日～2025年９月12日）



（注１）分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注２）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注３）参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。

（注４）分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年９月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近５年間の年間騰落率

	2020/9/14 期首	2021/9/13 決算日	2022/9/12 決算日	2023/9/12 決算日	2024/9/12 決算日	2025/9/12 決算日
基準価額（円）	4,392	4,579	4,509	4,638	4,767	5,112
期間分配金合計（税込み）（円）	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	9.9	3.9	8.6	7.9	12.5
参考指数騰落率（%）	—	13.0	6.6	13.1	10.3	15.8
純資産総額（百万円）	4,420	4,177	3,815	3,706	3,487	3,508

（注１）参考指数は、ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

（注２）「Bloomberg®」およびブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）は、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）および／又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Dataおよびその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、https://www.amundi.co.jp/product/view/JP90C0000DV1をご参照ください。

投資環境

＜米国ハイイールド債市場＞

４月月初に発表された米国による相互関税が事前の予想を上回り、米国の景気後退の可能性やグローバル貿易の先行きに対する懸念が生じたことから、リスク資産は大きく下落し、ボラティリティ（価格変動性）が著しく高まりました。その後、追加関税の上乗せ分の発効猶予が発表されたことを受け、相場は反発する動きとなりました。その後、主要貿易相手国との貿易協議で進展がみられたことなどを受けて、リスクセンチメントがさらに改善しました。また、この期間のインフレ指標は、関税が物価に大きな影響をおよぼしていないとみられたことなどから、投資家のリスク選好の後押しとなりました。米国では、７月に減税・歳出法案が可決されましたが、財政状況の悪化が懸念されたほか、労働市場の軟化を受けて、ＦＲＢ（米連邦準備理事会）の政策金利据え置きに対する圧力が高まりました。関税の最終的な形と影響は依然として不透明な中、貿易協議の進展、関税の発効猶予、比較的穏やかなインフレなどが支えとなり、スプレッド（国債との利回り格差）は縮小し、米国ハイイールド債市場は上昇する動きとなりました。

＜欧州ハイイールド債市場＞

欧州ハイイールド債市場は2025年３月から８月にかけて、地政学的リスクや米中貿易摩擦の影響を受けながらも、全体としては堅調に推移しました。３月から４月初めにかけては、米国の新関税発表懸念や欧州の大規模財政刺激策を背景にドイツ国債利回りが上昇（債券価格は下落）し、スプレッドが拡大したことで市場は一時下落しました。しかし、インフレ率が抑制されていたことからＥＣＢ（欧州中央銀行）は利下げを実施し、４月後半には90日間の関税停止発表を契機にリスク志向が回復し、市場は大きく反発しました。５月には米国の堅調な雇用増加やインフレ鈍化、貿易交渉の進展が好感され、スプレッドは縮小し、市場は力強く上昇しました。６月と７月も企業収益の好調や米・ＥＵ（欧州連合）間の貿易合意が支えとなり、緩やかな上昇が続きました。８月は夏場の低いボラティリティの中で控えめな動きとなりました。

＜為替市場＞

当作成期の為替市場では、米ドルは148円台、ユーロは161円台でスタートしました。

米ドル／円相場は、３月に米国のインフレ再燃懸念を受けた金利先高観に支えられ一時上昇しましたが、４月初めに追加の相互関税案が発表されると、その予想以上の規模に世界景気の混乱・低迷を懸念する動きから景気減速の影響を受けるとみられた米ドルが売られ、円が買われました。しかし、混乱回避のために追加関税の上乗せ部分の発効を猶予すると発表されたことや、米財務長官による中長期的に米ドルが強いことが望ましいとの発言もあったことから、米ドルは対円で下げ止まりました。その後は米国の景況感や利下げをめぐる思惑、関税交渉の推移などを睨みながら方向感のない展開が続き、147円台で当作成期末を迎えました。

ユーロ／円相場は、４月初旬の米国による追加関税策の発表は米国にマイナスの影響をおよぼすとの見通しから、ユーロは対米ドルで大きく上昇しましたが、対円ではレンジ内での取引に終始しました。しかし、日銀が利上げを見送った一方で、ＥＣＢによる利下げは打ち止めが近いとの観測が広がり、またドイツの財政拡張策が長期金利を押し上げ、ユーロは対円でも上昇に転じました。その後もエネルギー市況や欧州経済指標、中国需要の回復傾向などが下支え要因となり、ユーロは対米ドルで強含みの展開を続けたため、対円でも上昇基調を維持したまま、172円台で当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

<当ファンド>

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債市場へ投資する「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」と欧州のハイイールド債市場へ投資する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の毎月分配クラスに投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行いました。TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの二つのファンドにほぼ均等に投資を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

当ファンドは、スプレッドが縮小した局面を活用し、非循環銘柄などへのエクスポージャーを削減しました。一方、メディア・娯楽銘柄やエネルギー銘柄などへのエクスポージャーを拡大しました。当作成期、低位としていた相対的に格付けの低い銘柄のパフォーマンスが堅調となるなか、通信や非循環銘柄に加え、エネルギーや資本財、包装銘柄などがプラスに寄与しました。

（TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー）

<Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド>

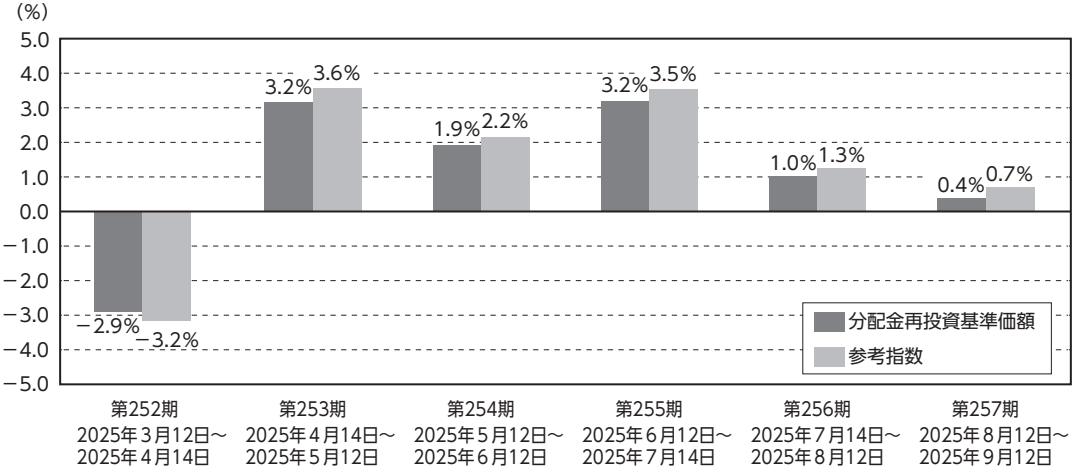
当ファンドは多くのセクターの新発債に積極的に参加し、魅力的な銘柄を選別して投資しました。割高な発行体へのエクスポージャーは削減し、銀行やヘルスケアなど見通しの良好なセクターへの投資を拡大しました。当作成期、銀行や電気通信セクターをオーバーウェイトしたことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。ベータ戦略や劣後金融債への配分と電気通信セクターにおける銘柄選定が好調で、ベンチマークを上回る成果を達成しましたが、一部景気循環セクターの影響で相対的なパフォーマンスはやや抑制されました。

（アムンディ・アセットマネジメント）

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



第252期	第253期	第254期	第255期	第256期	第257期
2025年3月12日～2025年4月14日	2025年4月14日～2025年5月12日	2025年5月12日～2025年6月12日	2025年6月12日～2025年7月14日	2025年7月14日～2025年8月12日	2025年8月12日～2025年9月12日

（注1）ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。
（注2）参考指数はブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス２％イシュアー・キャップ+ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index（BB-B）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・１万口当たり・税込み）

項　目	第252期 (2025年3月13日～2025年4月14日)	第253期 (2025年4月15日～2025年5月12日)	第254期 (2025年5月13日～2025年6月12日)	第255期 (2025年6月13日～2025年7月14日)	第256期 (2025年7月15日～2025年8月12日)	第257期 (2025年8月13日～2025年9月12日)
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	(0.420%)	(0.409%)	(0.403%)	(0.392%)	(0.390%)	(0.390%)
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	4,159	4,195	4,230	4,268	4,303	4,339

・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドの投資比率は今後も現状を維持する予定です。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド>

スプレッドは過去の水準からみてタイトな水準であることを踏まえ、当ファンドは引き続き、相対的にクレジットの質が高い銘柄を選好しています。しかしながら、労働市場の減速や消費者マインドの不透明感の高まり、企業が関税への対応を続ける中での資本支出削減などを織り込むとみられ、今後スプレッドが拡大する可能性は高いとみています。こうした拡大が起きた場合、当ファンドは、ファンダメンタルズ（基礎的条件）が健全な借り手に対し、より良好な条件で信用を供与する機会を積極的に活用していく方針です。また、当ファンドは、相対的に質が高く、景気循環による変動への耐性を持つ銘柄などを選好しています。

（TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー）

<Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド>

当ファンドはバランスの取れたポートフォリオの維持を優先し、経済的不透明感の中でも堅調さを示すセクターに重点を置く方針です。このアプローチには、高ベータ（市場全体の動きに比べ価格変動の度合いが高い）発行体へのエクスポージャーを選択的に引き上げつつ、地政学的動向にともなうリスクを慎重に管理することが含まれます。また、市場変動が生み出す投資機会を的確に捉えるため、積極的な銘柄選定が重要となるとみています。さらに、マクロ経済指標を継続的に注視し、市場環境の変化に応じて投資戦略を柔軟に調整することで、全体的な投資目標との整合性を確保していきます。

（アムンディ・アセットマネジメント）

お知らせ

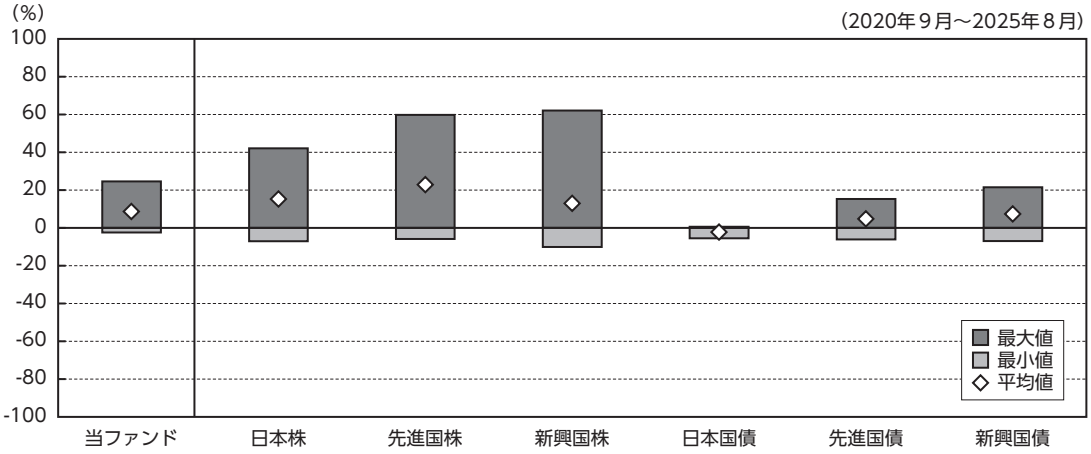
・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、2025年４月１日付けで投資信託約款に所要の変更を行いました。

・2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2004年３月19日から無期限です。	
運用方針	原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド（XJシェアクラス） Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド（毎月分配クラス）
	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド（XJシェアクラス）	米国のハイイールド債
	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド（毎月分配クラス）	欧州のハイイールド債
運用方法	① 原則として、米国のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券および欧州のハイイールド債市場へ投資する投資信託証券に投資します。 ② 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 ③ 投資信託証券への投資にあたっては、分散投資を行うことを基本とします。当ファンドの投資対象である投資信託証券において、銘柄分散および企業調査や分析によって個別銘柄の信用リスクを低減するように努めます。 ④ 投資比率の変更は、委託会社の判断により適宜行われます。 ⑤ 投資信託証券は、委託会社の判断により、適宜見直しを行います。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月12日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子･配当収入と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.7	15.3	22.9	13.0	−2.2	4.8	7.4
最大値	24.6	42.1	59.8	62.1	0.6	15.3	21.5
最小値	−2.5	−7.1	−5.8	−10.1	−5.5	−6.1	−7.0

(注１) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
(注２) 上記は、2020年９月から2025年８月の５年間の各月末における直近１年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
・当ファンドは、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

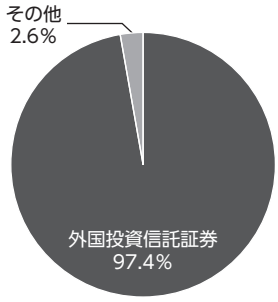
2025年９月12日現在
（組入銘柄数：２銘柄）

	銘　柄	通貨	比率
1	TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド（XJシェアクラス）	円	48.9%
2	Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド（毎月分配クラス）	ユーロ	48.6%

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

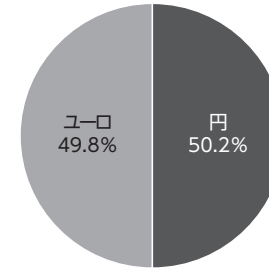
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注１）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第252期末 2025年４月14日	第253期末 2025年５月12日	第254期末 2025年６月12日	第255期末 2025年７月14日	第256期末 2025年８月12日	第257期末 2025年９月12日
純資産総額	3,358,378,451円	3,440,149,130円	3,490,992,473円	3,534,222,495円	3,547,002,717円	3,508,748,424円
受益権総口数	7,087,989,435口	7,067,529,728口	7,064,310,088口	6,956,737,099口	6,938,715,331口	6,864,167,107口
１万口当たり基準価額	4,738円	4,868円	4,942円	5,080円	5,112円	5,112円

※当作成期間（第252期～第257期）中における追加設定元本額は51,204,553円、同解約元本額は314,812,870円です。

組入ファンドの概要
<TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド※>

決算日：2024年９月30日
(計算期間：2023年10月１日～2024年９月30日)
「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。
※2025年３月10日付で「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド」は「TCWファンズ-TCW ハイ・イールド・ボンド・ファンド」に名称変更されました。

基準価額の推移（XJシェアクラス）



（注）基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

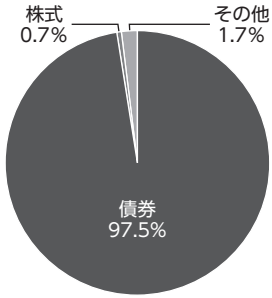
2024年９月30日現在
(組入銘柄数：150銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	UNITED STATES OF AMERICA 0% 29/10/2024	米ドル	アメリカ	4.5%
2	CENTENE CORP 4.25% 15/12/2027	米ドル	アメリカ	3.1%
3	TENET HLTHCARE CORP 5.125% 01/11/2027	米ドル	アメリカ	2.1%
4	FORD MOTOR CREDIT CO LLC 4.063% 01/11/2024	米ドル	アメリカ	1.8%
5	TRANSDIGM INC 6.375% 01/03/2029	米ドル	アメリカ	1.8%
6	CCO HLDGS LLC/CAP CORP 5.50% 01/05/2026	米ドル	アメリカ	1.7%
7	GRAPHIC PACKAGING INTERN 3.5% 15/03/2028	米ドル	アメリカ	1.6%
8	CSC HOLDINGS LLC 6.5% 01/02/2029	米ドル	アメリカ	1.5%
9	CATALENT PHARMA SOLUTION 5% 15/07/2027	米ドル	アメリカ	1.5%
10	MSCI INC 3.625% 01/09/2030	米ドル	アメリカ	1.4%

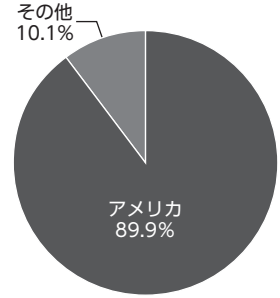
（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

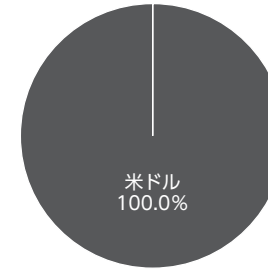
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注１）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入しております。

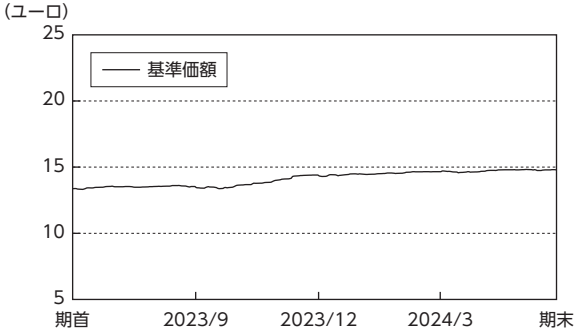
１万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしておりません。

組入ファンドの概要
＜Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド＞

決算日：2024年６月30日
（計算期間：2023年７月１日～2024年６月30日）
「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



（注）基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

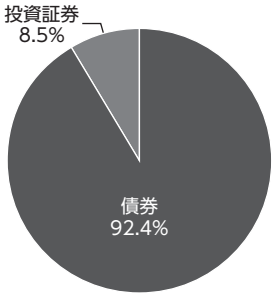
2024年６月30日現在
（組入銘柄数：242銘柄）

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI EURO LIQUIDITY RATED SRI FCP	ユーロ	フランス	4.4%
2	BFT AUREUS ISR FCP	ユーロ	フランス	1.9%
3	AMUNDI EURO LIQUIDITYSHORT TERM SRI FCP	ユーロ	フランス	1.7%
4	VIRGIN MEDIA VENDOR FINANCING NOTES III DAC 4.875% 15/07/2028	英ポンド	アイルランド	1.1%
5	EDF TF/TV PERPETUAL	英ポンド	フランス	1.1%
6	ALPHA BANK SA VAR 27/06/2029	ユーロ	ギリシャ	1.1%
7	LORCA TELECOM BONDCO 4% 18/09/2027	ユーロ	スペイン	1.1%
8	TELECOM ITALIA SPA 7.845% 31/07/2028	ユーロ	イタリア	1.0%
9	VEOLIA ENVIRONNEMENT SA VAR PERP	ユーロ	フランス	1.0%
10	VODAFONE GROUP PLC VAR 27/08/2080	ユーロ	イギリス	1.0%

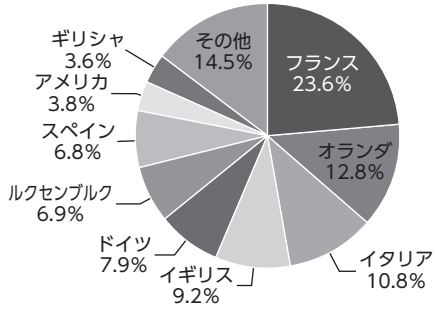
（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

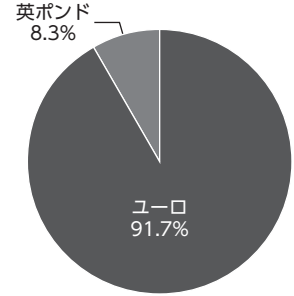
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注１）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
（注３）比率は、小数点以下第２位を四捨五入しております。

１万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしておりません。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、ＪＰＸにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

• MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「NFRC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

• FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。


Amundi
Investment Solutions
Trust must be earned